

由利本荘市立東由利中学校



だいやま 台 山

【学校教育目標】
清らかにたくましく
学校だより
N08
令和6年5月21日(火)

21人で首都圏を堪能 体験と行動で貴重な学びを獲得Ⅱ

5月13日 (2日目)

朝食は、贅沢に一室を貸し切ってバイキング形式。食べたいものを食べたい分だけとって全員で「いただきます」。朝は、早々と目が覚めてラジオ体操をした部屋から、目覚ましアラームに起こされた部屋から様々だったようですが、概ね昨夜はぐっすり寝られた様子。全員がしっかりと朝ご飯で活力を養い、2日目の自主研修に向けて出発しました。



それにしても、この日は今シーズン最大級の大雨ということで、朝から横なぐりの雨が容赦なく襲いかかります。それぞれがカップや傘で防備しながら徒歩で移動し、舞浜駅から東京駅へ。東京駅からは、いよいよ研修班ごとに分かれ、山の手線にゆられて原宿、渋谷、池袋を目指します。車内は、通勤ラッシュの時間帯を幾分外れていたため、それほどの混雑もなく、順調な滑り出しで、ほぼ予定通りに到着です。自分たちで立てた計画は万全だったのですが、実際は、まだ店が開いてなかったりと、変更を強いられた班も少なからなかったようです。それでも、仲間と相談しながら臨機応変に活動できたことは立派ですし、推しのグッズやお目当てのものを手に入れて満足気な人もたくさんいました。



さて、集合場所には、予定よりも早めに揃ったので、そのまま歩いてディズニーランドへ向かいます。舞浜駅からディズニーランドまでの道のりは、来園者のワクワク感を募らせるためのものであり、最後の下り坂は軽やかな足取りを演出しているのだとか…。ディズニーの訪れる人を楽しませる徹底ぶりは有名ですが、入園前のセキュリティチェックだけは魔法のかけようがないのでしょうか、入念にかばんをチェックされました。警備クリア後は、晴れて夢の国の住人に（相変わらず雨は降り続けていますが）。そして、早々に夢の国ならではの奇跡が訪れます。

なんと正門に入ったタイミングで、いきなりミッキーとミニーマウが揃って登場したのです。すぐさま人気者の周りには人が駆け寄って輪ができ始めます。こちらも、シャッターチャンスとばかりに近くの班に声をかけますが、さほど関心がなかったのか、メインキャラを横目に足早に素通り。



キャラクターよりも早くアトラクションに乗りたかったのか、およそ6～8つくらいは乗れたようでした。ちなみに当日の1番人気はスペースマウンテンで、待ち時間は50分前後でした。しっかりと並んで見事に制覇した班もあったり、スプラッシュマウンテンに2回乗った班もあったりと、存分に満喫できたようでした。また、園内では、班ごとにご飯を食べたり、家族にお土産を買ったりと思いいいに夢の時間を過ごしました。

雨の中でのディズニーランドではありましたが、夜には水たまりや滴にイルミネーションが反射して、ライトアップも色鮮やかに一層幻想的でした。きっと忘れられない思い出の1ページになったはずです。さて、終幕を告げるかのような打ち上げ花火に見送られてホテルへの帰路についた一行。1日中歩き通しで、かなり疲れたのでしょうか。23時の消灯時には全員深い眠りにつきました。



5月14日 (3日目)

いよいよ最終日。昨日の雨と疲れで体調を崩さないか心配でしたが、全員が元気に揃って朝食を食べました。朝の集いを終えると、すぐに部屋に戻ってチェックアウトの準備をします。前日から荷物の整頓をしていた班は、手際もよく、余裕をもって行動ができていました。

さて、無事に部屋チェックが終わると、ホテルに別れを告げてバスは浅草に向かいます。さすが人気観光地で1、2を争う浅草は、まだ9時にもかかわらず、すでに多くの観光客でにぎわっています。雷門をくぐって仲見世通りを横切り、本堂へ向かい、そこからは自由散策となりました。早速、凶の出る確率が高いので有名なおみくじを引き、結び棒に結ぶことになった人もいました。ガイドさんの説明では、凶が30%、吉が35%、大吉が17%、半吉や小吉、末吉はかなりの低確率ということでしたが、東由利中はいくじの割合が確実に高い結果となりました。ちなみに私がひいたくじには、「旅行：道中、良くないことがあります」とあり、そっとしまっただけで見なかったことにしました。



さて、学習の一環でもある今旅、浅草では、外国人観光客と一緒に写真を撮るといったミッションが課せられていました。当然、学習してきた英語を駆使しながら、自分たちで声をかけます。はじめは緊張しながらも、伝わった際の喜びや達成感を感じて、全員が無事に課題をクリア。大きな成果を上げました。

ほどなくして、浅草を後にし、同じく人気スポットのスカイツリーへ到着。大型のエレベーターで地上350mの展望台まで一気に上がります。扉が開くと、視界にはパノラマの景色が広がり、自然と窓ガラスへと吸い寄せられていました。それにしても、昨日の曇天とはうってかわり、遠くの富士山まで見えるほどの絶景で、いい日に当たりました。ちなみに、下が見えるガラス床をはじめ、スカイツリーで使用されているガラスは、強度や断熱などの技術が施された特殊なガラスだそうです。



さて、3日間の旅程を終え、手にも心にもお土産を抱えながら帰ってきた修学旅行隊。帰りの車中では、1人1人が修学旅行で心に残ったことや学んだことを発表しながら帰って来ました。そこには、楽しかったことはもちろん、時間の厳守や集団での行動、仲間との協力、ルールやマナーの遵守、お金の使い方等々、修学旅行ならではの気づきや学びが感じられ、これからの生活や将来にもつながるものでもありました。総じて、1人1人が大切なことを意識し、よく守って行動に移すことができた素晴らしい修学旅行でした。これは、その場だけ繕うとしても無理なものであり、これまでの準備や日頃の取組がしっかりしていたからこそその結果であると思います。東由利中学校の最高学年として、この経験を糧としながら、さらにこれからの学校生活や様々なことにつなげていけるものと楽しみです。保護者の皆様もご準備やご協力ありがとうございました。

さて、3日間の旅程を終え、手にも心にもお土産を抱えながら帰ってきた修学旅行隊。帰りの車中では、1人1人が修学旅行で心に残ったことや学んだことを発表しながら帰って来ました。そこには、楽しかったことはもちろん、時間の厳守や集団での行動、仲間との協力、ルールやマナーの遵守、お金の使い方等々、修学旅行ならではの気づきや学びが感じられ、これからの生活や将来にもつながるものでもありました。総じて、1人1人が大切なことを意識し、よく守って行動に移すことができた素晴らしい修学旅行でした。これは、その場だけ繕うとしても無理なものであり、これまでの準備や日頃の取組がしっかりしていたからこそその結果であると思います。東由利中学校の最高学年として、この経験を糧としながら、さらにこれからの学校生活や様々なことにつなげていけるものと楽しみです。保護者の皆様もご準備やご協力ありがとうございました。



ベストを尽くせ!地区陸上大会迫る!



5月23日(木)水林陸上競技場において、本荘由利中学校陸上大会が開かれます。本校からは12名の選手が以下の種目にエントリーし、出場してきます。短い練習期間ではありますが、それぞれが自己ベストや目標達成に向けて練習してきましたので、本番では持てる力を存分に発揮して全力で臨んでください。また、大会には、2年生5名が補助役員として大会運営を支えることとなります。こちらも学校の代表としての働きぶりをよろしくをお願いします。

【出場選手】	1年100m	渡辺 **	2年100m	阿部 **	3年100m	大庭 **
	共通200m	高橋 **	共通800m	小野寺 **	畑山 **	
	共通走高跳	古関 **	共通走幅跳	鈴木 **	大庭 **	
	共通砲丸投げ	佐々木 ***	リレー登録メンバー	渡辺 **	大庭 **	